

あきくさ
ふくい

福井の冬の定番スイーツ 水くようかん



旧北園街道
江戸時代のメインストリート
片町・呉服町は老舗が多い

江戸時代
足羽川にかかる唯一の橋だった。
羊石・羊木の奇橋として有名だった。

目下柳木部・グリンスイ
福井藩初の留学生とその先導

遊歩道
川面を見ながら
リスタルジックに
どぞあるよ

柴田神社
柴田勝家と片町の方をまつている。三人の娘
高マ・神・江まつる
三姉妹神社である

福井の水くようかんとは?

福井の水くようかんは寒い冬にこたつに入って家族みんなでお食べるものなのです。

上にコファンがはさまれている。食べやすいようにお水が入っているよ。
うどんをするようにつって吸いこんで食べるのが通!!

水くようかんの歴史

昔、正月休みに里帰りする丁稚さんに、主人が「羊かん」をよく持たせた。家に帰った丁稚さんは家族みんなでお食べる水で薄め練り直し、黒砂糖を足したものが福井の水くようかんの原点ともいわれています。

市内、約40店がオリジナル水くようかん製造

お店によって甘さ、かたさ、食感がちがう! 食べ比べてみよう!!
10ヶ所もいろいろあるよ



●...水くようかんを製造・販売している羊子屋さん。西武・アリス福井・スーパー・コンビニ等でも販売されています。

約 500m